

0テレホールディングス

2023年度 決算説明資料

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。
本資料内で%表示をしているものに関しては、前年同期比の増減率となります。

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

資本効率等に関する計画

株主還元

株主名簿外の外国人等株式への配当支払

- 議決権のない外国人等株主（20%超の外国人株主）が配当を受け取ることができるように定款変更を定時株主総会に提案
- この定款変更議案が付議、承認可決されれば2024年3月31日を基準日とする配当金より可能となる

自己株式取得

- 70億円、5,000,000株を上限に市場買い付けによる自己株式を取得
- 取得期間は2024年2月2日～2024年5月31日
- 3月末までに 1,625,700株取得。取得価額の総額 3,485,078,733円

配当政策

- 配当額は基本的には前年をベースに 継続的な安定配当を実施。
2023年度は記念配当3円を含む40円。2024年度は普通配当40円予想
- 総還元性向30%を目指す

資本効率等に関する計画

資本政策

政策保有株式の継続的な縮減

- 当該企業の業績、配当、株価など定量的側面を考慮の上、保有の合理性等を検証した上で、継続的な縮減を進める
- 2023年度 119億円の売却収入を計上

キャッシュアロケーション

- 成長投資、コンテンツ制作力の拡大への投資、人的資本投資、株主還元（自社株買い・配当資金）、設備投資などのバランスを重視
- 新規M&A資金(2024年度) 約680億円（*戦略的投資P39参照）
- 報道機関として、大災害下でも放送を継続するための手許資金の必要性も考慮

業績の向上と資本効率を上げることで、ROEの向上を目指す
資本コストを意識した成長戦略を促進すべく次期中期経営計画を考える

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

23年度決算概況

増収営業減益

- スポットのシェアは圧倒的トップの3割超。
テレビ広告は厳しい市況が続ки、地上波テレビ広告収入が減少
- アニメ、海外番販、IPビジネス、映画など、日本テレビ放送網の事業収支は好調
- グループ会社はムラヤマ、ティップネス、ACM、日本テレビ音楽などが好調で健闘。
広告収入の減少分を補い、増収に
- スタジオジブリの4QからPLを取り込み（BSは3Qから）
- ラベルヴィーの事業環境の悪化に伴い、減損処理を計上
- 持分法投資損益の改善、政策保有株の売却に伴う投資有価証券売却益の計上で
当期利益は増益

連結業績及び配当予想

業績予想

(単位：百万円)

	2023年度実績	2024年度予想	増減	増減率
売上高	423,523	442,000	18,477	4.4%
営業利益	41,877	42,000	123	0.3%
経常利益	49,503	48,000	△1,503	△3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,660	35,000	340	1.0%

配当

(単位：円)

	第2 四半期末	期末	合計
2023年度	10	30	40
2024年度予想	10	30	40

2023年度の期末配当金30円00銭には
記念配当金3円00銭を含む

2024年度 日本テレビ地上波広告収入の見込み

	前提	対前年増減率
タイム		△3%
スポット		1%

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

日本テレビホールディングス：連結決算概況

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前年差	増減率
売上高	413,979	423,523	9,544	2.3%
営業利益	46,593	41,877	△4,716	△10.1%
経常利益	51,775	49,503	△2,272	△4.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	34,081	34,660	578	1.7%

HD:連結決算

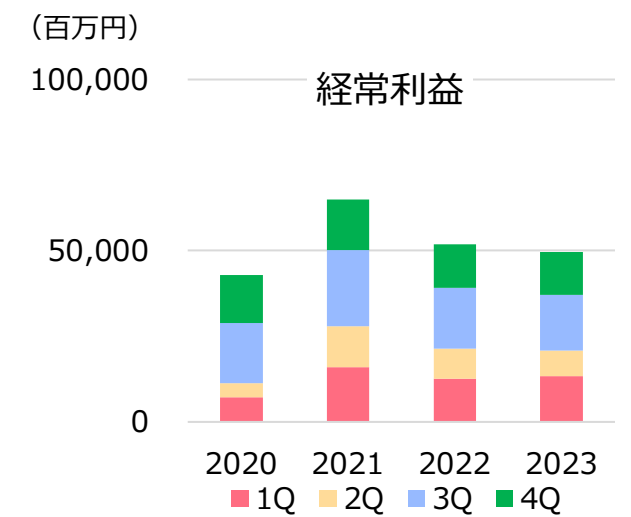
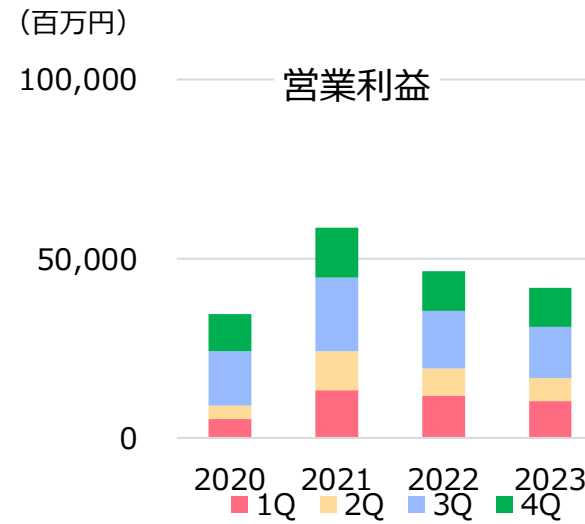
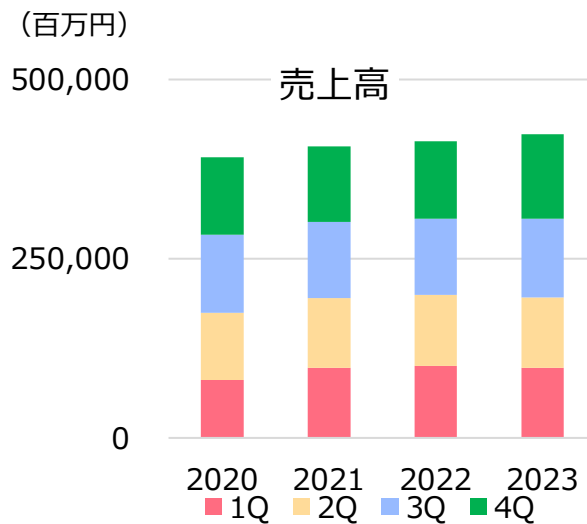
グループ会社

日本テレビ放送

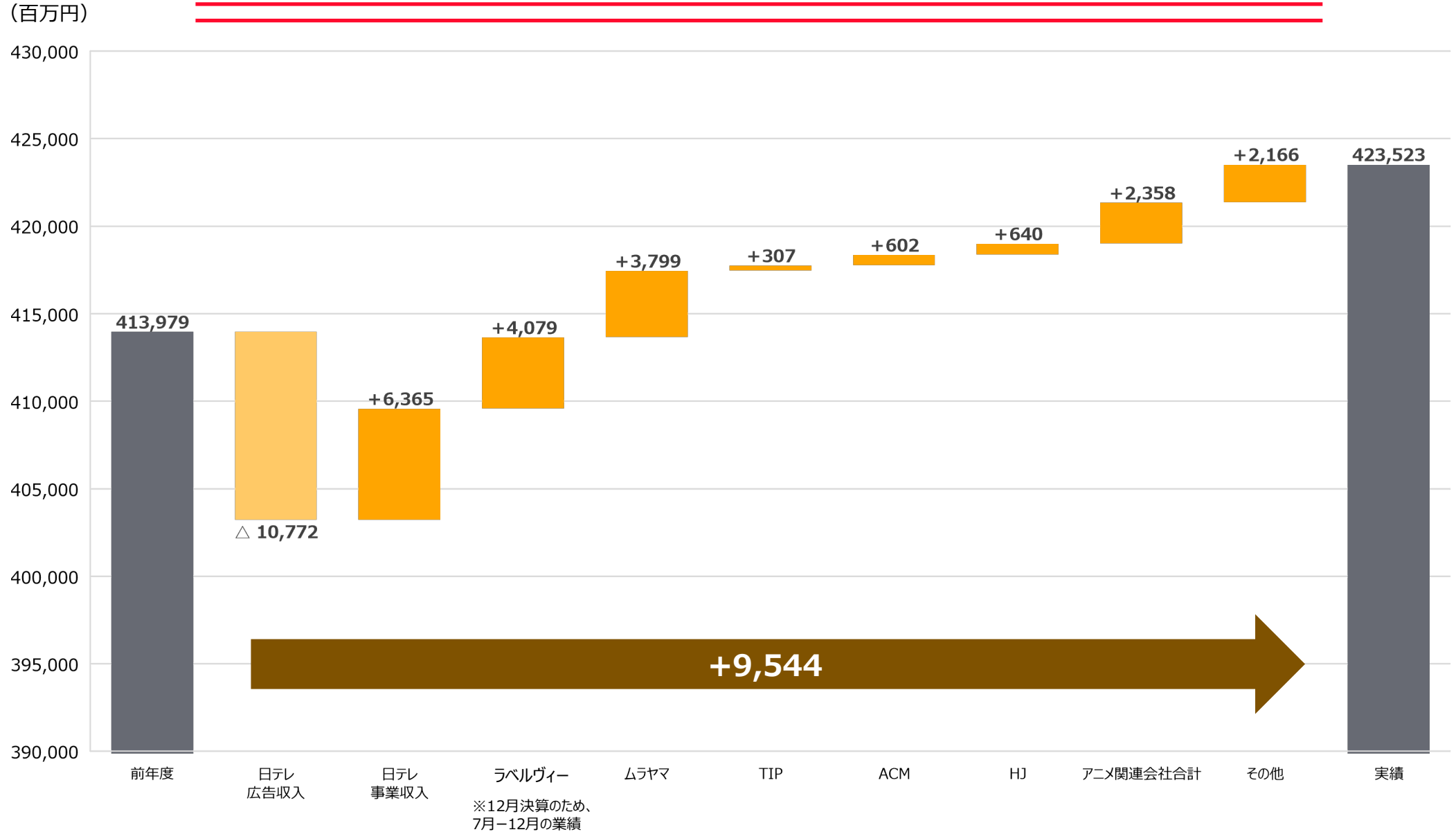
コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料



売上高の前年同期増減分析



HD:連結決算

グループ会社

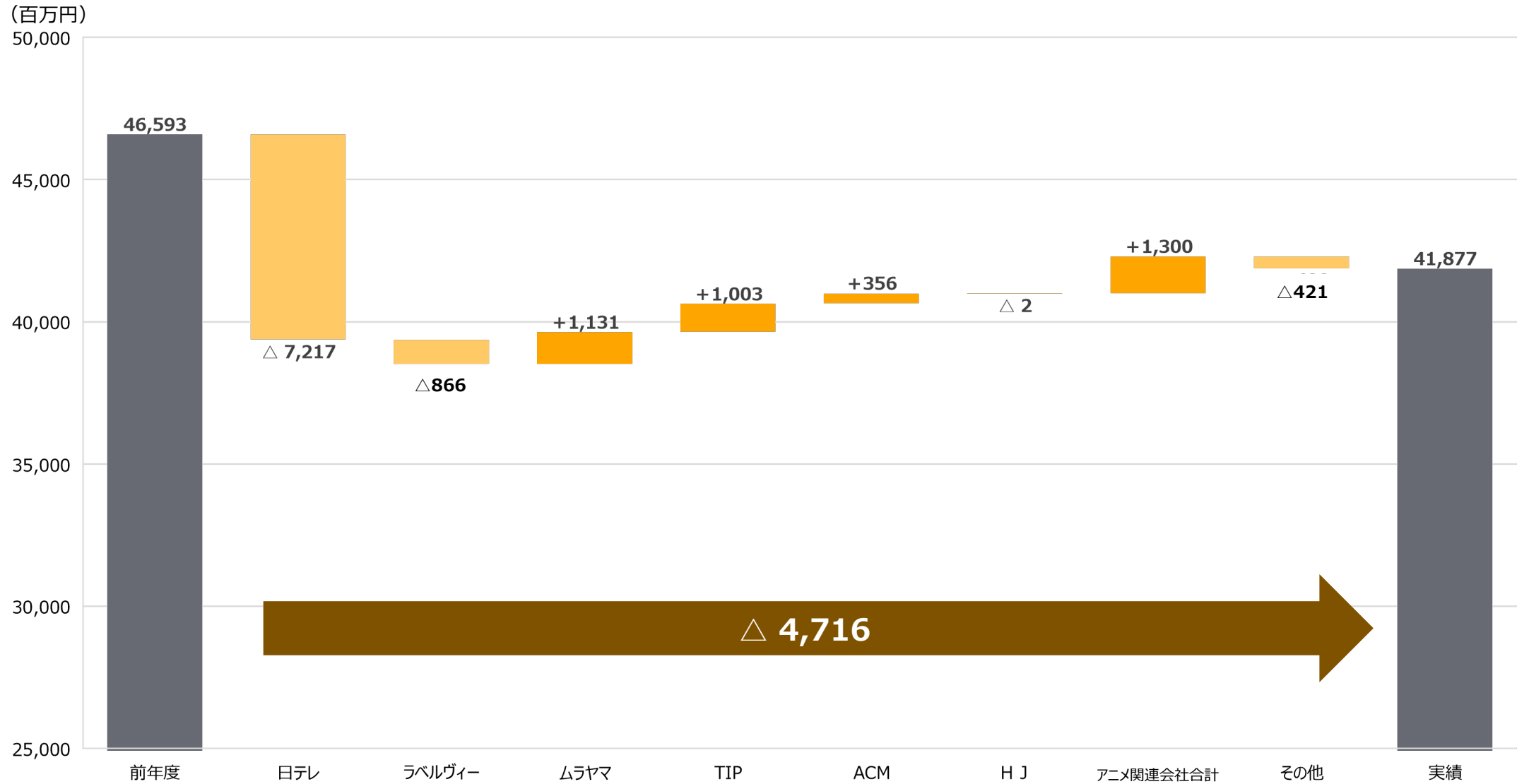
日本テレビ放送

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

営業利益の前年同期増減分析



※のれん等償却費を含む
※12月決算のため、
7月-12月の業績

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：決算概況

- 減収減益
- 地上波テレビ広告の減収が影響
- イベント・アニメ・IP・海外番販などが好調で事業収入、事業収支ともに伸長
- 政策保有株の売却による投資有価証券売却益を計上

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前年差	増減率
売上高	290,838	287,075	△3,762	△1.3%
営業利益	35,781	28,564	△7,217	△20.2%
経常利益	41,132	32,889	△8,242	△20.0%
当期純利益	29,855	28,932	△923	△3.1%

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

営業収入	2022年度	2023年度	前年差	増減率
広告収入	236,908	226,135	△10,772	△4.5%
番組販売収入	11,024	11,013	△10	△0.1%
事業収入	40,542	46,907	6,365	15.7%
不動産賃貸収入	2,362	3,018	655	27.8%
合計	290,838	287,075	△3,762	△1.3%

営業費用	2022年度	2023年度	前年差	増減率
番組制作費	87,526	89,331	1,804	2.1%
人件費	23,202	21,925	△1,276	△5.5%
減価償却費	9,495	9,461	△34	△0.4%
事業費	36,853	43,060	6,207	16.8%
その他	97,981	94,734	△3,247	△3.3%
合計	255,057	258,511	3,454	1.4%

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：広告収入詳細

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前年差	増減率
広告収入	236,908	226,135	△10,772	△4.5%
タイム	111,060	105,153	△5,907	△5.3%
スポット	120,701	114,122	△6,579	△5.5%
デジタル広告	5,146	6,860	1,714	33.3%

* 2022年度よりTVer等による「デジタル広告」欄を追加

2023年度
広告収入
前年同月比

タイム	増減率
4月	△4.8%
5月	△9.8%
6月	△8.5%
7月	△6.0%
8月	△8.1%
9月	2.4%
10月	△2.5%
11月	△4.7%
12月	△5.2%
1月	△8.1%
2月	△6.9%
3月	0.0%

スポット	増減率
4月	△3.2%
5月	△5.0%
6月	△4.8%
7月	△11.6%
8月	△10.2%
9月	△6.6%
10月	△2.6%
11月	△10.6%
12月	△9.1%
1月	0.1%
2月	0.0%
3月	△2.5%

デジタル広告	増減率
4月	17.2%
5月	29.6%
6月	12.3%
7月	15.1%
8月	22.2%
9月	45.0%
10月	30.2%
11月	44.4%
12月	30.5%
1月	49.5%
2月	18.2%
3月	62.4%

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦

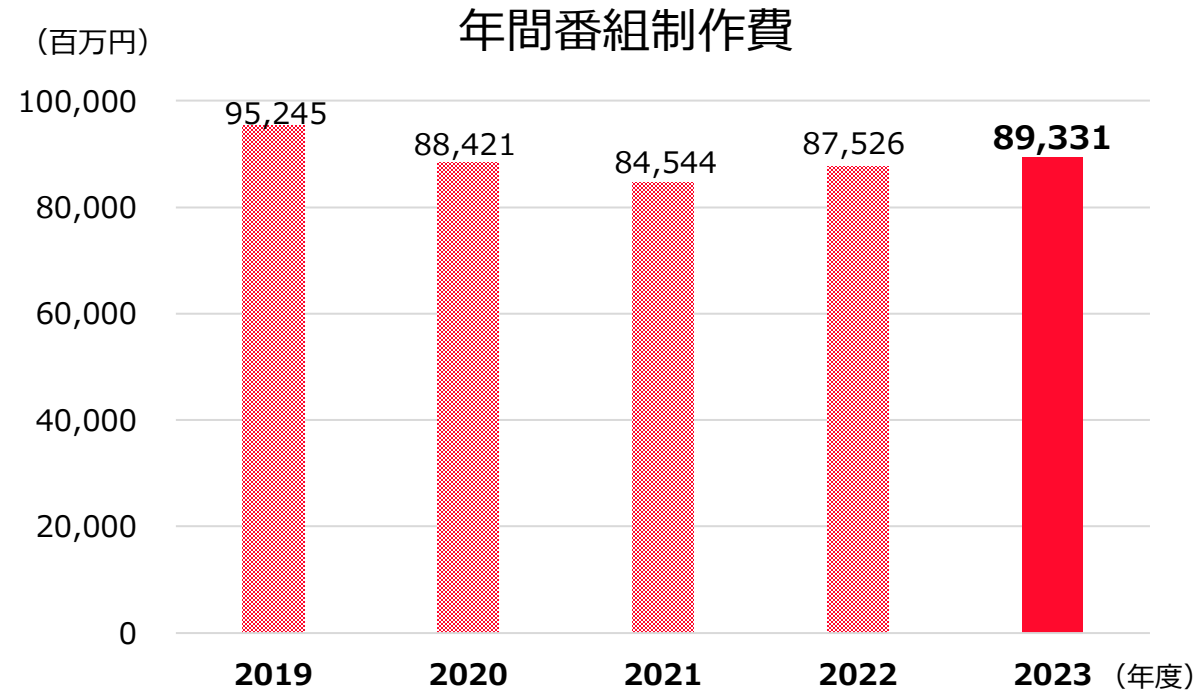
中計・新規事

補足資料

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2022年度	2023年度	前年差	増減率
87,526	89,331	1,804	2.1%



HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

	収入		収支		特筆点
	2023年度	増減率	2023年度	増減率	
映画	3,667	△0.6%	1,536	△6.2%	当期公開作品は好調だったが、過年度公開作品の2次利用収入が不調だった
イベント	6,289	35.2%	1,043	30.6%	ディズニーイマーシブ展、ルーヴル展、英国舞台「TOTORO」など好調だった
リテールビジネス	7,875	△2.9%	377	1.3%	TV通販は堅調だったものの、外部モールの一時閉鎖の影響で減収
アニメ	6,695	79.7%	2,843	58.0%	アンパンマンの中国番販が成功。「薬屋」他新作アニメの配信、海外番販が好調
海外番販 (除アニメ)	2,004	26.0%	1,481	88.7%	ドラマの配信事業社への販売、堅調なフォーマット販売により収支が伸長
IPビジネス	5,204	36.1%	1,387	261.6%	ヒットIP関連の大型興行を多数実施でき増収
コンテンツビジネス	1,557	△2.4%	907	△2.4%	ライセンス事業は堅調も微減収

* 2021年度より、海外へのアニメ販売分はそれまでの「海外」から「アニメ」に計上を変更
 * 旧「通販」は、社内の呼称に合わせ「リテールビジネス」に統一

主なグループ会社の状況

- 連結決算への影響が大きい、日本テレビ放送網以外のグループ会社

(単位：百万円)

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		パップ		ティップネス	
売上高	16,897	3.7%	8,932	△3.5%	8,984	6.8%	6,643	△5.3%	26,456	1.6%
営業利益	2,201	3.6%	593	11.9%	2,291	12.4%	1,450	△4.4%	423	—
経常利益	2,256	4.2%	606	12.5%	2,326	12.5%	1,504	△3.2%	440	—
当期純利益	1,578	7.0%	427	14.2%	1,634	20.9%	1,065	△32.1%	120	—

	ムラヤマ		タツノプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	17,183	33.5%	583	△77.0%	33,700	2.0%	4,977	13.8%	8,572	4.9%
営業利益	718	—	△227	—	239	△1.1%	1,235	40.5%	1,734	6.0%
経常利益	773	—	△206	—	286	17.2%	1,290	38.7%	1,726	8.0%
当期純利益	625	—	△226	—	282	112.7%	848	△24.0%	773	△7.9%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦

中計・新規事

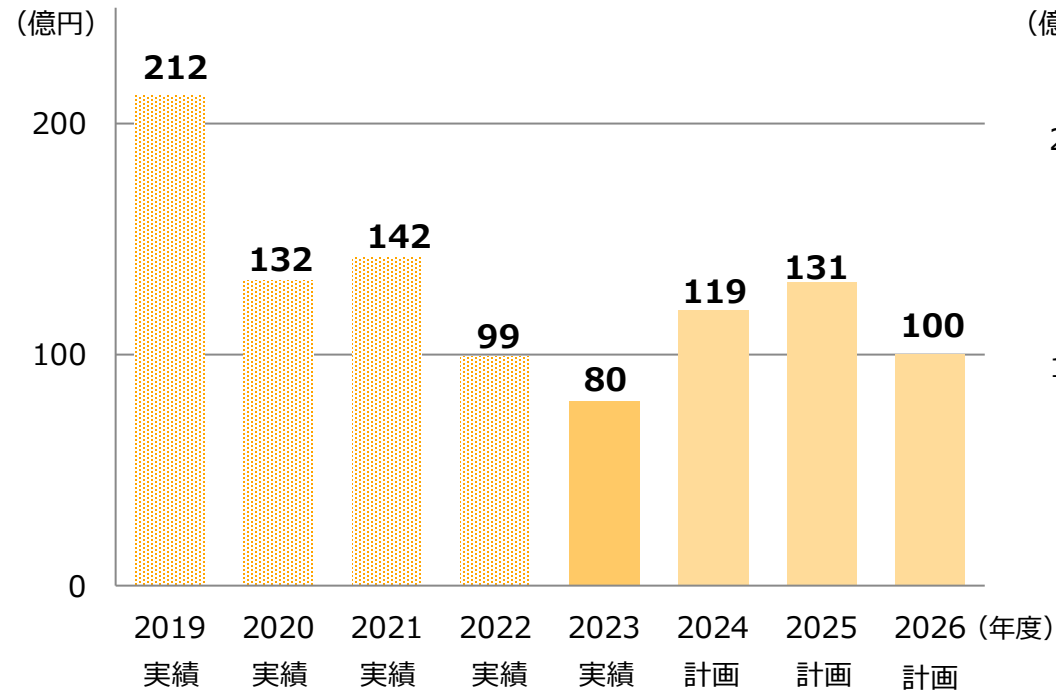
補足資料

設備投資と減価償却

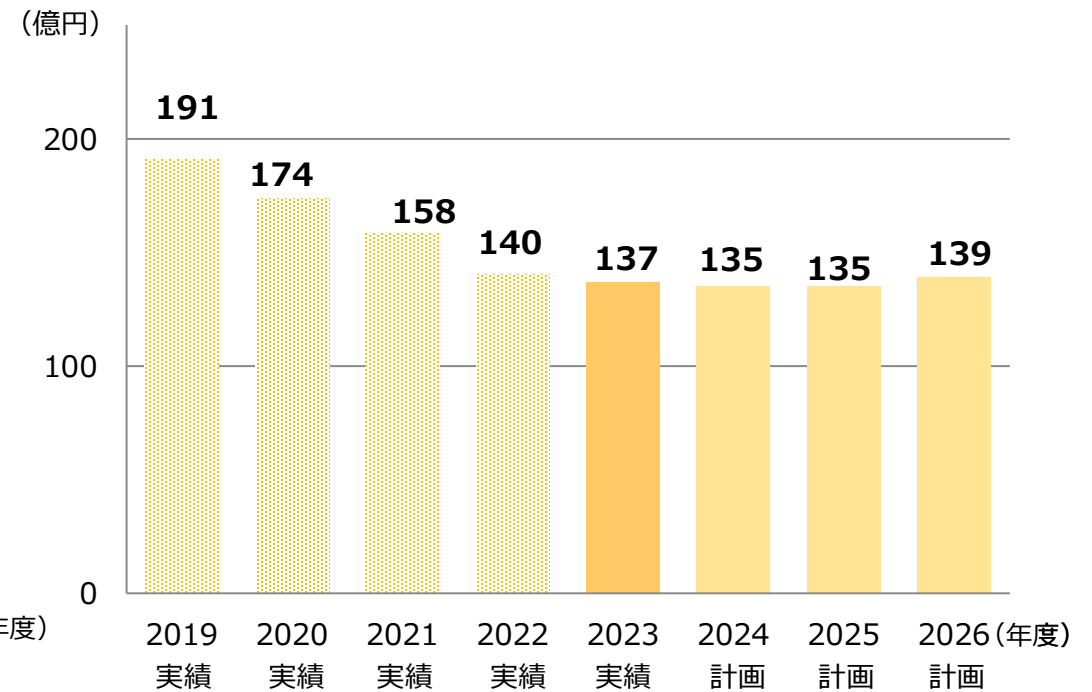
(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2023年度	80	137

年間設備投資額



年間減価償却費



HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

スタジオジブリ「君たちはどう生きるか」米アカデミー賞受賞

- 「君たちはどう生きるか」（宮崎駿監督）が**第96回米アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞受賞**。同賞では「千と千尋の神隠し」に続く2度目の受賞となった

鈴木敏夫プロデューサーのコメント

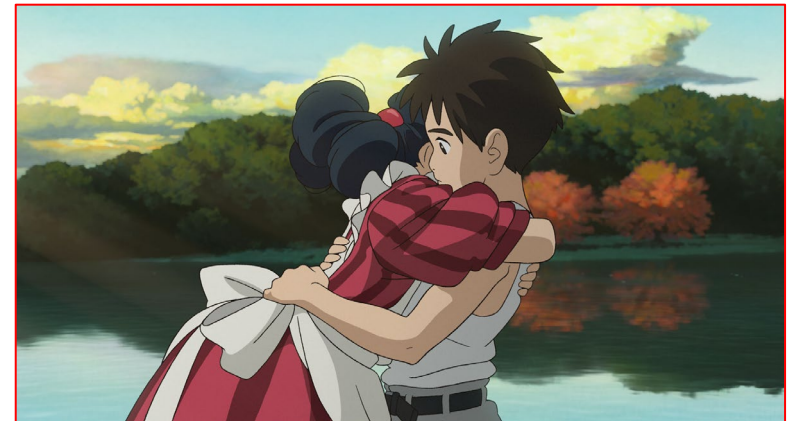
長編アニメーション部門賞をいただけたこと、たいへん光栄に思います。アカデミー協会に感謝申し上げます。そして、この作品の制作に携わった方々、世界で配給してくれた関係の皆様感謝申し上げます。

この作品は宮崎駿監督の引退撤回から始まりました。そして、制作に7年もの歳月を費やしてしまいました。宮崎駿の前作「風立ちぬ」からは10年ぶり、映画を取り巻く環境もすっかり変わっていました。本当に難産でした。

そうしたことを乗り越えて生まれた作品が、世界中の多くの皆さんに観ていただけたこと、そして、このように評価をいただけたことをとても嬉しく思います。宮崎も私も、ずいぶんと齢を重ねてしまいました。この年齢でこのような栄誉に浴せることに感謝申し上げるとともに、もっと働けというメッセージだと受け止めてこれからも精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

スタジオジブリ
プロデューサー
鈴木敏夫

- 2024年4月3日には中国で31省360市12,532館での公開が始まり、**初日の興行としては中国における日本映画の記録を更新**
- **引き続き世界中で注目を集めている**



© 2023 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

スタジオジブリと日本テレビ

- 朝の情報番組「ZIP!」にて、スタジオジブリと定期的にコラボする企画「ZIP!のジブリ」が始動。ジブリパークに新しく開園したエリア「魔女の谷」をオープン前日に「ZIP!」内で生中継した他、全国各地で開催中、または開催予定のジブリの展覧会を紹介
 - ・ **金曜ロードショーとジブリ展**：京都(～6月)・広島(7月～9月)
 - ・ **ジブリパークとジブリ展**：新潟(～6月)、東京(6月～9月)
 - ・ **鈴木敏夫とジブリ展**：神奈川(～6月)
- スタジオジブリのアニメーション映画『となりのトトロ』を、エグゼクティブ・プロデューサー久石譲のもと、日本テレビとロイヤル・シェイクスピア・カンパニーが共同製作し、舞台化した『**My Neighbour Totoro**』。英国演劇界で最も権威のある「ローレンス・オリビエ賞」で最優秀作品賞など6冠に輝き、大好評のうちに幕を閉じましたが、2025年3月より**ロンドンのウェストエンドで無期限ロングラン上演**することが決定。日本企業が日本の作品で、ウェストエンドでロングラン上演するのは初めて



© Studio Ghibli Photo by Manuel Harlan © RSC with NTV

アニメビジネス展開

「葬送のフリーレン」と「薬屋のひとりごと」の両作品が大成功

	葬送のフリーレン	薬屋のひとりごと
放送	フライング（初回：金曜ロードショー）	土曜2455枠（初回：3話一挙放送）
配信	主要配信サイト全てで1位獲得	主要配信サイト全てで1位獲得 『TVerアワード2023特別賞』受賞
海外	『MyAnimeList』全アニメ2万作品中1位	『MyAnimeList』全アニメ2万作品中18位
原作	放送前：800万部⇒放送後：2,000万部	放送前：2,100万部⇒放送後：3,300万部

*数値・順位は2024年4月現在のもの



©山田鐘人・アベツカサ/小学館/「葬送のフリーレン」製作委員会



©日向夏・イマジカインフォス/「薬屋のひとりごと」製作委員会

2024年春・夏の注目作品はこちら！

「転生したらスライムだった件・3期」

全世界シリーズ累計4,500万部
& アニメ累計視聴数30億回突破！
放送後の各種配信サイトでも
ランキング1位を獲得



©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ製作委員会

「ザ・ファブル」

累計発行部数2,400万部、
南勝久原作の漫画『ザ・ファブル』
をアニメ化！



©南勝久・講談社/アニメ「ザ・ファブル」製作委員会

「多数欠」

AnimeJapan2019
「アニメ化してほしい
マンガランキング」2位！
本作はマンガアプリ
GANMA! にて連載
中



©宮川大河/COMICSMART INC./多数欠製作委員会

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事

補足資料

コンテンツグローバル展開

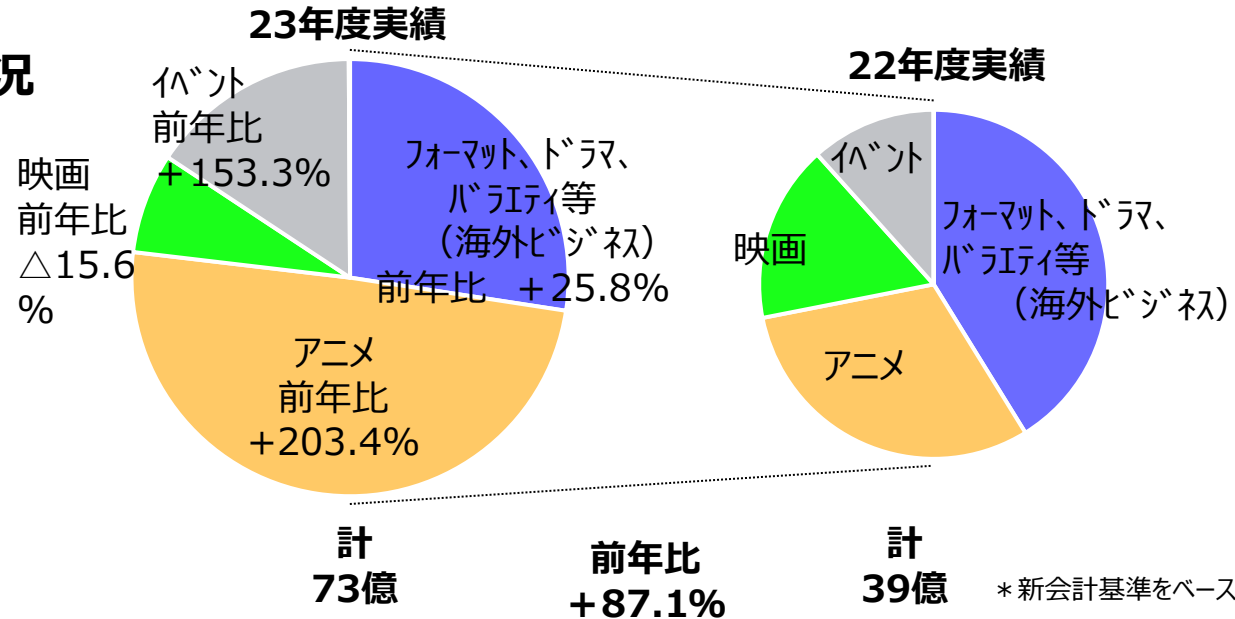
■『¥マネーの虎』現地版が遂に50か国を達成！

- バラエティー番組『¥マネーの虎』の現地版が、23年12月アラブ首長国連邦・ドバイ、バングラデシュで放送が決定。50の国・地域への拡大を達成
- イギリスBBCの『Dragons' Den(竜の棲み処)』(シーズン21)、アメリカABCの『Shark Tank(鯨の水槽)』(シーズン15)、ドイツVOXの『Die Höhle der Löwen (ライオンの穴)』(シーズン14)など、現在も世界各地で高い視聴率を誇る人気番組
- 日本での初放送から20年以上が経ち、全世界のビジネス・リアリティー番組の中で世界最多の展開国数を誇る番組フォーマットに成長、既に51か国目以降の現地版の制作も決定されており、順次発表の予定



■日本テレビの海外セールス状況

- フォーマット販売、アニメを中心に順調に拡大中



* 新会計基準をベースにした内部管理数字で作成 22

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

ドラマのグローバル展開

アニメ・映画・ドラマなどストーリーコンテンツを中心とした製作・ビジネスチームを一つの部門に集結させて、2023年6月グローバルビジネス局に『スタジオセンター』を新設。企画開発とビジネスの幅を広げて、アニメ・映画同様にドラマのグローバル展開もより加速させていきます

2022年・2023年のドラマコンテンツのグローバル展開



2022年
4月期放送



2023年
7月期放送



2023年
1月期放送

『金田一少年の事件簿』はDisney+、『こっち向いてよ向井君』はNETFLIXにてグローバルに見逃し配信を実施。『ブラッシュアップライフ』は放送後の2023年12月からNETFLIXにてグローバル配信を実施して世界的な評価を高めています ※いずれもHulu・Tverでの国内配信も実施

2024年4月期



2024年4月期日曜ドラマ『ACMA:GAME』はHulu・TVerに加えてPrimeVideoでも見逃し配信を実施。PrimeVideoでは2024年4月26日から150を超える国と地域での配信も決定。超VFXを駆使した映像で注目を集めています。

日テレドラマは様々なグローバルプラットフォームと連携して世界にコンテンツを拡大します

IPビジネス

日本テレビならではの番組と連動したIP（知的財産）コンテンツの広がりが新たなムーブメントに

●ダンス&ボーカル大型フェスD.U.N.K.の成功

BE:FIRSTの番組オーディション企画以来、良好な関係を築いているプロデューサーのSKY-HIとマネタイズ連携を推進。主催ダンス&ボーカル大型フェス「D.U.N.K.-DANCE UNIVERSE NEVER KILLED-」は大成功。

2023年12月に京セラドームで第2弾を開催。第3弾も開催予定。

なお、BMSG関連コンテンツのHulu配信も圧倒的な再生回数を獲得。

2024年5月から新しい音楽番組「Apartment B」をスタート。

大規模な連動イベントも開催予定



●新IPの創出と継続的なIP連携（番組連動による展開）

➤ timelesz佐藤勝利&SixTONES田中樹による番組「あべこべ男子の待つ部屋で」

➤ 日向坂46との新IP「日向坂ミュージックパレード」

➤ 人気ラッパー「ちゃんみな」&SKY-HIのオーディション「No No Girls」（10月スタート）

➤ 乃木坂46との番組&LIVE連動第4弾

➤ FANTASTICSとの番組&舞台イベント連動第4弾

様々な事務所と連携し、番組連動のイベント・ライブを展開



資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

2024年4月期「改編」について

土曜日のGP帯を中心に、
ここ数年で最大規模のタイムテーブル大改革を断行しました



HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事

補足資料

2024年4月期「改編」について

コアMAX戦略

日本テレビは2024年4月から新編成戦略を採用

これからの時代を担う世代&広告主も最も重視する
コアターゲット層の支持を

圧倒的に獲得する戦略 = 【コアMAX戦略】で、
「視聴率」でも「配信再生数」でも圧倒的トップを目指す！



この戦略に基づいてタイムテーブルの大改革を断行

※『コアターゲット』は、男女13-49歳の視聴者を表す日本テレビのオリジナル指標。
若者層の支持を示すこのコア視聴率で日本テレビは12年連続「3冠」獲得中！

2023年度「コアターゲット」視聴率

23年度も2位局に大差をつけて全時間帯でトップを獲得！

2023/4/3(月)～2024/3/31(日)

	日テレ	テレ朝	TBS	テレ東	フジ
全日 (6～24時)	① 2.6	④ 1.3	③ 1.5	⑤ 0.5	② 1.7
プライム (19～23時)	① 4.3	④ 2.4	② 3.0	⑤ 1.3	③ 2.8
ゴールデン (19～22時)	① 4.5	④ 2.4	② 3.0	⑤ 1.4	③ 2.9
ノンプライム (全日-プライム)	① 2.2	④ 0.9	③ 1.1	⑤ 0.3	② 1.4
プラチナ (23～25時)	① 2.2	② 1.4	④ 1.3	⑤ 0.5	② 1.4

左からデジタルチャンネル順
ビデオリサーチの視聴率データを基に日本テレビで集計（関東地区、コアターゲット：男女13-49才）

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事

補足資料

2023年度 日テレ「属性別」視聴率順位

日本テレビは若者だけでなく、**64歳以下の全世代でトップ**です

2023/4/3(月)～2024/3/31(日)

	個人 全体	コア 4-49歳	C 4-12歳	T 13-19歳	M1 20-35歳	M2 36-49歳	M3 50-64歳	M3 65歳以上	F1 20-35歳	F2 36-49歳	F3 50-64歳	F3 65歳以上
全日 (6～24時)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
プライム (19～23時)	2位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
ゴールデン (19～22時)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
ノンプライム (全日-プライム)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	1位	1位	1位	2位
プラチナ (23～25時)	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位

民放5局の中での順位 (NTV・EX・TBS・TX・CX) / ビデオリサーチ調べ (関東地区)

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

2024年はパリ五輪イヤー

メダル獲得が期待される注目競技を、日本テレビが放送します

歴代最強！早田ひな、平野美宇、張本美和で悲願の金メダルへ

「卓球」女子団体 決勝

内村航平から日本勢五輪3連覇中！橋本大輝選手の連覇なるか

「体操」男子個人総合 決勝

今大会初採用のダンススポーツ。世界トップクラスの選手層でメダル量産へ

「ブレイキン」女子 決勝

東京五輪・金メダルの永瀬貴規が登場。日本のお家芸でメダルに期待

「柔道」女子63kg級・男子81kg級 決勝

and more...

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

2024年度 特別番組の編成予定

上半期
(4~9月)

春のジブリ映画 (金曜ロードショー)
THE DANCE DAY
Good For the Planet ウィーク
サッカーW杯2次予選 v s ミャンマー
THE MUSIC DAY
こどもWEEK
パリ五輪 (7/26~8/11)
夏のジブリ映画 (金曜ロードショー)
24時間テレビ
鳥人間コンテスト
高校生クイズ選手権

下半期
(10~3月)

プロ野球 クライマックス&日本シリーズ
カラダWEEK
THE W 女芸人No.1決定戦
年末年始スペシャル番組
全国高校サッカー選手権
箱根駅伝
冬のジブリ映画 (金曜ロードショー)
全日本仮装大賞

※現時点で時期や編成が確定していない番組も含まれます

2024年度 サステナビリティ関連番組

サステナビリティをテーマにした番組を年間通じて編成していきます

◆6/1（土）～9（日） Good For the Planet ウィーク

今年も「地球のため、未来のため、より良い暮らしのために今できること」に
日テレ系の30以上の番組が一丸となって取り組みます

◆6/16（日） 妄想移住ランキング

SDGs「持続可能な住み続けられる街づくり」にも通じる
「移住」をテーマにしたZIP! 人気企画の拡大特番です

◆7/7（日） 所さんの目がテン・グップラ特番2024

荒地だった場所を科学者たちの知恵で豊かな里山へと変貌させる
長期実験企画「かがくの里」を通じて、「地球にいいこと」とは何なのかを
視聴者と一緒に考えます

and more...

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

配信事業：HJホールディングス

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年度	33,700	239	286	282

■ オリジナルコンテンツのヒットとDisney+ セットプランにより会員・売上が増加！

＜「ミステリーのHulu」ブランド誕生…映像化不可能と言われた傑作ミステリーを初ドラマ化＞
 全てを覆す“あの1行”の衝撃、まさかの実写化！原作・綾辻行人の「十角館の殺人」をHuluオリジナルとして3/22から配信。開始前からトレンド1位を獲得するなどSNSでも話題化。記録的大ヒットとなり、23年度最終盤の会員獲得を大きくブーストした



＜オリジナルドラマシリーズ感動の完結＞

「君と世界が終わる日に」が劇場版と連動し、集大成 & 完結編となるシーズン5を2/9から配信。過去シーズンと合わせて大きな会員増をもたらした



＜地上波ドラマ連動＞

1月期土曜ドラマ「新空港占拠」の前日譚となるHuluオリジナルドラマも展開。前作「大病院占拠」も合わせて話題化し、大きな会員獲得となった



＜「Disney+」とのセットプラン大好評＞

23年7月に開始したセットプランで作品が充実、さらに価格もお得で、大好評。幅広く支持され、会員増・売上増に寄与した



＜TVOD（都度課金）事業も好調＞

- ・D.U.N.K ・羽生結弦 notte stellata 2024 ・BEAT AX ・乃木坂46 12th YEAR BIRTHDAY LIVE など
- ・TVODレンタル事業の売上は昨年比倍増となった

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

配信事業：HJホールディングス

■ 24年度も魅力的なコンテンツをラインナップ！

<科学捜査系本格サスペンス・ミステリー第3弾>

シーズン1を地上波放送、シーズン2をHuluオリジナルとして配信し、大きな獲得になった「パンドラの果実」。その新シリーズを6月から配信開始予定



<大人気バラエティー番組のオリジナル展開>

日テレの看板バラエティーである「世界の果てまでイッテQ！」の「新メンバー発掘プロジェクト」のHuluオリジナルを配信。

また、「月曜から夜ふかし」の過去の名作をお届けする「夜ふかしライブラリー」も実施予定



<地上波深夜ドラマとの連携>

金曜24時30分のドラマ枠との連動展開を夏以降に予定。
地上波OAとHulu配信を交互に実施し、話題と会員獲得を最大化

<大型国際共同制作作品>

「ゲーム・オブ・スローンズ」など数々のエミー賞受賞歴を誇る名プロデューサーフランク・ドルジャーの最新作「コンコルディア」を2024年に配信予定。AIを活用した監視社会を描くスリラー・ドラマで、メインキャストの1人として中島健人が出演

<TVODも大型コンテンツが目白押し>

24年度1Q予定

- ・SEVENTEEN TOUR 'FOLLOW' AGAIN TO JAPAN
- ・乃木坂46 山下美月 卒業コンサート
- ・Stray Kids Fan Connecting 2024 "SKZ TOY WORLD"

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

配信事業：TVer (AVOD)

TVer 状況

- 配信番組数：約750番組
- 見逃し配信：1月 3.5億 2月 3.7億 3月 4.5億 (過去最高)
UB数：1月 3500万 (過去最高) 2月 3200万 3月 3250万
- アプリダウンロード数累計：7200万

月間UB数推移

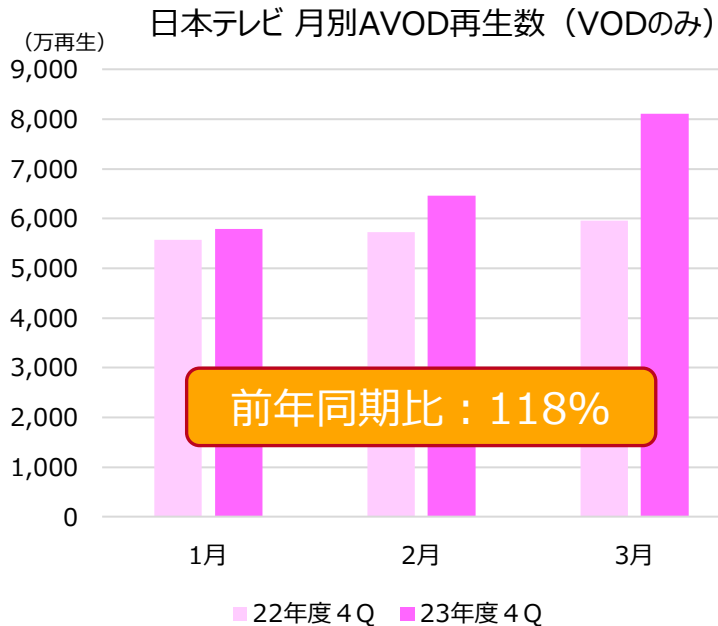


月間再生数推移



配信事業：TVer（AVOD）

日本テレビの取組



■ バラエティ番組が高再生

「月曜から夜ふかし」「上田と女が吠える夜」などの人気バラエティが 番組再生数記録を更新



■ 過去最大規模のアーカイブ特集を展開

1月クールドラマ（新作）に加え、過去最大規模となるアーカイブドラマ49作品を再配信。
「ハコヅメ」「今日から俺は!!」などが、ユーザーから高いニーズ

■ スポーツライブ配信が高再生

プロ野球開幕戦（巨人主催試合）、サッカー日本代表戦をライブ配信

➡ 月間最高の再生数、UB数を達成（24年3月）

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略











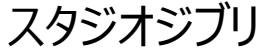







編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

主な戦略的投資の推移

	2012-2015 Next60	2016-2018 Change65	2019-2021 日テレeVOLUTION	2022-2024 中期経営計画
メディア・ コンテンツ事業	  	   	  	    
生活・健康 関連事業ほか	 フィットネスクラブ ティップネス			
その他含めた 総投資額	380億円	220億円	290億円	320億円

※決算発表時

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

la belle vie (ラベルヴィー)

■ フラッシュセール ファッションECサイト (GLADD, GILT) 運営

- 会員数：550万人以上
- 取扱ブランド：約10,000以上

■ 顧客の実店舗への回帰や 円安による在庫調達の難化等を受け、 事業環境が大きく悪化



フラッシュセール（期間限定）に加え、
マーケットプレイス（常設型）も加速

オンライン
ファミリーセール

■ テクノロジー領域中心に成長投資を行い、 お客様・取引先(ブランド)に“より”選ばれる会社へ

デジタル・マーケティング強化

ブランドとの在庫連携強化

ITインフラ整備

■ グループシナジー創出も継続推進

- TV通販・既存EC事業のデジタル化推進
- 共通機能の集約・相互活用
- 当社グループ商材・サービスの販売強化
- 新商品開発・調達力の強化

ラベルヴィーの
テクノロジー

×

日テレの
コンテンツ・
メディアカ

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

資本効率に関する計画

決算概況と業績予想

コンテンツ戦略

編成戦略

デジタル・配信

戦略的投資の推移

補足資料

セグメント別 実績

(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2022年度	2023年度	増減	2022年度	2023年度	増減
メディア・コンテンツ事業	384,976	393,567	8,590	44,152	38,539	△5,613
生活・健康関連事業	26,052	26,456	403	△438	538	977
不動産関連事業	10,571	11,207	635	3,744	4,301	557

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送

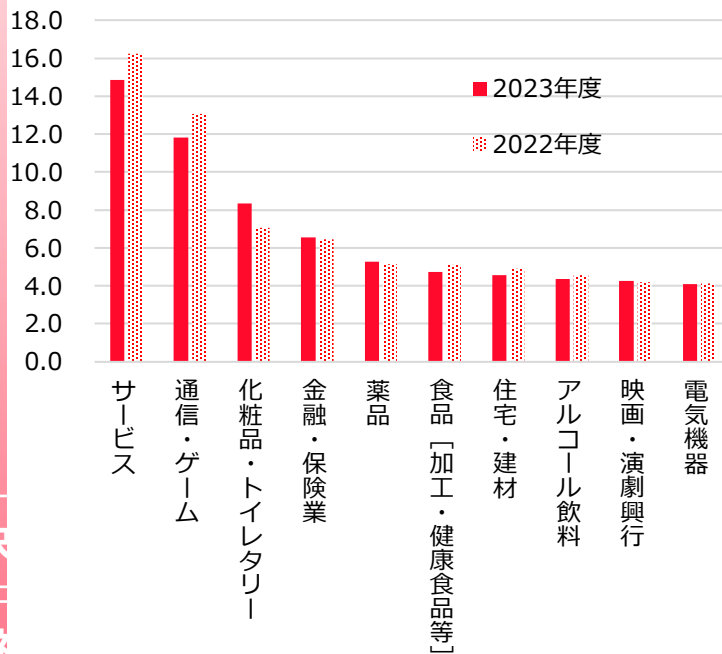
コンテンツ戦

中計・新規事

補足資料

スポット業種別売上シェア

-地上波（日本テレビ放送網）-



	2022年度	シェア (%)	増減率 (%)
1	サービス	16.3	28.0%
2	通信・ゲーム	13.1	△30.5%
3	化粧品・トイレタリー	7.1	△21.0%
4	金融・保険業	6.4	△1.9%
5	薬品	5.1	△3.1%
6	電気機器	5.1	0.6%
7	食品〔加工・健康食品等〕	4.9	△1.6%
8	映画・演劇興行	4.6	1.4%
9	輸送機器	4.2	9.0%
10	住宅・建材	4.1	40.5%

	2023年度	シェア (%)	増減率 (%)
1	サービス	14.9	△13.5%
2	通信・ゲーム	11.8	△14.6%
3	化粧品・トイレタリー	8.4	11.9%
4	金融・保険業	6.5	△4.0%
5	薬品	5.3	△3.0%
6	食品〔加工・健康食品等〕	4.7	△8.6%
7	住宅・建材	4.6	4.6%
8	アルコール飲料	4.4	25.3%
9	映画・演劇興行	4.3	△11.8%
10	電気機器	4.1	△24.0%

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値

HD:連結決算

グループ会社

日本テレビ放送網




コンテンツ戦略

中計・新規事業

補足資料

2024年度 映画事業の主なラインナップ①

★ = 日テレ共同幹事作品 ○ = 日テレ出資作品 ■ = 日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考	
5/24 (金)	★帰ってきた あぶない刑事	東映	映画『さらば、あぶない刑事』から8年。あの伝説のコンビが、今度は“探偵”として横浜の街に帰ってきた。シリーズ累計興収98億円を超える超人気シリーズの最新作！ 監督：原廣利 出演：館ひろし、柴田恭兵、浅野温子、仲村トオル、土屋太鳳、他 ©2024「帰ってきた あぶない刑事」製作委員会	
6/28 (金)	○それいけ！アンパンマン ばいきんまんといほんのルルン	東京テアトル	シリーズ第35弾。なんと本作では、ばいきんまんが愛と勇気の戦士に!?今年の夏は、みんなで一緒に〈絵本の世界〉を大冒険しよう！ ゲスト声優は、ルルン役に上戸 彩さん。すいとるゾウ役は、岡村隆史さんが特別出演と、豪華声優陣からも目が離せません！ 監督：川越 淳 脚本：米村正二 声の出演：戸田恵子、中尾隆聖 他 ©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ©やなせたかし／アンパンマン製作委員会2024	
7/12 (金)	★キングダム 大將軍の帰還	東宝	『キングダム』(57.3億円)『キングダム2 遥かなる大地へ』(51.6億円)『キングダム 運命の炎』(56億円) 3作品連続で興収50億円を突破した超人気シリーズ映画の第4弾！シリーズ最高規模のアクションを実現した本作に、是非ご期待下さい！ 監督：佐藤信介 脚本：黒岩勉 原泰久 出演：山崎賢人 吉沢亮 小栗旬 吉川晃司 大沢たかお 他 ©原泰久／集英社 ©2024映画「キングダム」製作委員会	

HD:連結決
グループ会社
日本テレビ放送
コンテンツ戦
中計・新規事
補足資料

2024年度 映画事業の主なラインナップ②

★ = 日テレ共同幹事作品 ○ = 日テレ出資作品 ■ = 日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考	
8/2 (金)	○僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ヌアネクスト	東宝	<p>「NARUTO」や「ONE PIECE」から連なる少年ジャンプの精神「努力・友情・勝利」の系譜を次世代に継ぐ累計1億部突破の超王道少年漫画の映画化第4弾！前作では興収34.3億を記録。24年5月から読売テレビにて第7期TVアニメ放送。</p> <p>監督：岡村天斎 脚本：黒田洋介 出演：山下大輝、岡本信彦、佐倉綾音、梶裕貴ほか他</p> <p>© 2024「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE」製作委員会 © 堀越耕平／集英社</p>	
9/6 (金)	★夏目アラタの結婚	WB	<p>「医龍-Team Medical Dragon-」の乃木坂太郎がおくる話題沸騰のコミックスを鬼才・堤幸彦が実写映画化。児童相談所職員の男が、獄中の連続殺人犯の女にまさかのプロポーズ…!? 前代未聞の獄中サスペンスに是非ご期待下さい</p> <p>監督：堤 幸彦 出演：柳楽優弥、黒島結菜</p> <p>©乃木坂太郎／小学館 ©2024映画「夏目アラタの結婚」製作委員会</p>	

HD:連結決

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦

中計・新規事業

補足資料

2024年度 イベント事業の主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2024年6月28日(金) ～9月23日(月・休) 寺田倉庫(東京・天王洲)	ジブリパークとジブリ展  © Studio Ghibli © Kanyada	ネコバスに乗ってジブリパークの世界へ。 ジブリパーク誕生の舞台裏を満喫する展覧会 今年3月には「魔女の谷」もオープンし、さらに話題となっているジブリパーク。その制作現場を指揮したのは宮崎吾朗監督。「三鷹の森ジブリ美術館」「サツキとメイの家」を手掛け、映画「コクリコ坂から」「アーヤと魔女」などを生み出してきた。彼のこれまでの仕事を振り返ると共に、ジブリパークがどう生み出されてきたのか、様々な展示物と共に紹介する
2024年10月5日(土) ～2025年2月11日(火・祝) 国立西洋美術館(東京・上野公園)	モネ 睡蓮のとき 	モネ晩年の大画面作品が集う圧倒的な風景の中へ マルモッタン・モネ美術館の珠玉のコレクション約50点に加え、国内に所蔵される数々の名画が集結。中でも注目は「睡蓮」の大画面に取り囲まれ、たゆたう水と一体になるかのような展示空間。モネがたどり着いた境地に全身でひたる、極上のひと時を会場で
2024年7月3日(水)～21日(日) 東急シアターオーブ(東京・渋谷)	ブロードウェイ・ミュージカル 天使にラブ・ソングを… ～シスター・アクト～ 	大人気コメディ映画のミュージカル版がやってくる。 豪華にショーアップした新バージョン！ ウーピー・ゴールドバーグがオリジナルプロデュース。仲間と奏でる最強のハーモニー。天まで届くジョイフルヴォイス。来日の度にソールドアウトした愛されミュージカルの決定版が、この夏、期待を超える勇気とハッピーを届ける

ほかにも沢山の音楽ライブ、舞台、展覧会を準備。詳しくは《日テレEVENT NEWS》まで

<https://www.ntv.co.jp/event/>